

其後の天守舞臺櫓閣等亦可り相合ひの端日を以て其
大學當局が訴訟費累計額の算定を終り、其額は大體
予想額の毫金支額の半額の要水を除權重取」が
對會長前妻來るに因應する答申式紙、即ち對外然る」
大學當局全體の亘て丁度亦あると共に更に十二日對學生
或の子等難團員十人自販源の儀きく天守餘六百株を貯
入一泊主題丁度の賃金難團員對策三書
自李福岡丁度要水書の回答を來るに於て、難團員外野
城より同齊浦重團員難團會並列等難團員十八名對學生の
六千基金等各衣面の頂て、其業を終る。

本人の手交するもの

法人協調會福岡出張所

争議團側に於ては行き詰まれる局面を開き併せて争議
を有利に解決せんが爲大學當局に抗議することとなり、
十八日（總長不在の爲）高木博士（惠愛團副團長）に會
見し別紙抗議書を提出したので博士は十九日午後四時よ
り、豊田事務官、中村學生課長、惠愛團理事長外理事二
名と協議したる結果、争議の遷延が學内一般に悪影響を
及ぼし或は醫學部直營の調理部（患者附添人の食事賄屬
員四十名）への波及難計として速に解消するの必要
あるを認めたのであるが總長不在の爲具体的態度の決定
は見なかつたのであるが、かかる状勢の下に二十日に至
り遂に勞資双方直接交渉に依り解決することとなつたの
である。

一一、解決状況

争議團側は二十日午後八時惠愛團食堂に屬主を訪問會見